

向精神薬・抗精神病薬DB

■ 概要

- ・診療報酬における「向精神薬多剤投与」「向精神薬長期処方」による処方料などの減額や、「非定型抗精神病薬加算」の算定などの対象となる候補薬剤のデータベースです。

■ 特徴・機能

- ・診療報酬における「向精神薬多剤投与」、「非定型抗精神病薬加算」、「持続性抗精神病注射薬剤治療指導管理料」などに関連する候補医薬品を判別することが可能です。
- ・「向精神薬長期処方」に該当する可能性のあるベンゾジアゼピン受容体作動薬を個別医薬品コードで管理し、適応症に不安若しくは不眠があるか否かの判別情報を保持しています。

■ 目的・利用場面

- ・電子カルテでの処方入力時に、「向精神薬多剤投与」や「向精神薬長期処方」による減額回避の参考情報としてご利用いただけます。
- ・医事会計システムにおいて、診療報酬の算定対象となる向精神薬の判別にご利用いただけます。

■ データ例

向精神薬候補薬剤のデータ（概略）

向精神薬分類	向精神薬成分名称	個別医薬品コード	商品名	区分フラグ
抗不安薬	オキサゾラム	1124013F1033	セレナール錠5	
睡眠薬	スボレキサント	1190023F1024	ベルソムラ錠15mg	
抗うつ薬	ベンラファキシン塩酸塩	1179055N2028	イフェクサーSRカプセル75mg	
抗精神病薬<定型薬>	クロルプロマジン塩酸塩	1171001F2177	コントミン糖衣錠25mg	
抗精神病薬<非定型薬>	リスペリドン	1179407G1026	リスパダール コンスタ筋注用25mg	持続性抗精神病注射薬剤

■データ例

ベンゾジアゼピン受容体作動薬のデータ（概略）

成分名称	適正使用掲載フラグ*	個別医薬品コード	商品名	不安若しくは不眠の適応症
エチゾラム	掲載	1179025C1054	デパス細粒 1%	有
オキサゾラム	掲載	1124013F2064	セレナル錠 10	有
クロナゼパム	掲載	1139003F1059	ランドセン錠 0.5 mg	有
ミダゾラム	掲載	1139401A1020	ミダフレッサ静注 0.1%	なし
レミマゾラムベシル酸塩	非掲載	1119403F1024	アネレム静注用 50 mg	なし

■参考

診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項における「別紙36」（抜粋）

抗不安薬

オキサゾラム
クロキサゾラム
クロラゼパム酸二カリウム
ジアゼパム
フルジアゼパム
プロマゼパム
メダゼパム
ロラゼパム

抗精神病薬（○印は非定型抗精神病薬、△は持続性抗精神病注射剤）

<定型薬>
クロルプロマジン塩酸塩
クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩
ペルフェナジンフェンジゾ酸塩
ペルフェナジン
ペルフェナジンマレイン酸塩
プロペリシアジン
フルフェナジンマレイン酸塩

「医薬品適正使用のお願い（医薬品医療機器総合機構PMDA）」抜粋

ベンゾジアゼピン受容体作動薬を 催眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合は、以下の点にご注意ください

- ◎**漫然とした継続投与による長期使用を避けてください**
・承認用量の範囲内でも長期服用するうちに依存が形成されることがあります
・投与を継続する場合には、治療上の必要性を検討してください
- ◎**用量を遵守し、類似薬の重複処方がないことを確認してください**
・長期投与、高用量投与、多剤併用により依存形成のリスクが高まります
・他の医療機関から類似薬が処方されていないか確認してください
- ◎**投与中止時は、漸減、隔日投与等にて慎重に減薬・中止を行ってください**
・急に中止すると原疾患の悪化に加え、重篤な離脱症状があらわれます
・個々の患者さんに合わせ、隔日投与等にて徐々に減薬・中止してください
・患者さんに、自己判断で中止しないよう指導してください

●本邦で承認されているベンゾジアゼピン受容体作動薬*（2024年4月時点）

一般名	販売名	一般名	販売名
アルプラゾラム	コンスタン、ソラナックス 他	フルニトラゼパム	サイレース 他
エスゾピクロン	ルネスタ 他	フルラゼパム塩酸塩	ダルメート
エスタゾラム	ユーロジン 他	プロチゾラム	レンドルミン 他
エチゾラム	デパス 他	プロマゼパム	レキシタン 他
オキサゾラム	セレナル	メキサゾラム	メレックス
クアゼパム	ドラール 他	メダゼパム	レスミット 他